

多世代交流・介護支援の先進地へ

総務厚生委員会

8月8日に総務厚生委員会を開催し、7月に決定した「重点調査項目」に沿った行政視察先について協議を行いました。先進的な取り組みを行っている次の2町を訪問することとし、事前に本町の課題や質問事項を洗い出した上で、視察に臨むことに決定しました。

○「熊野町観光交流拠点整備構想計画について」(筆の里工房周辺の開発)

愛知県阿久比町を訪問し、世代を超えたふれあい活動、青少年育成の拠点として町民の多様なニーズに対応しうる多機能な施設として整備され、かつ周辺(町外から)の住民を呼び込む工夫が多数なされている「ふれあいの森」を視察する。



▲阿久比町の「ふれあいの森」案内図。多様なニーズに対応できる施設が整備されている。

○「健康づくり・介護予防事業について」

「介護支援ボランティア制度」が円滑に実施されている先進地である、愛知県豊山町を訪問視察する。

被災箇所の復旧状況を確認

産業建設委員会

9月17日に産業建設委員会を開催し、昨年の7月豪雨に伴う町内の被災箇所の現地視察を行いました。また、11月に予定している行政視察先への事前質問事項について協議しました。

(1) 現地視察(町内被災箇所の復旧状況確認)

「平成30年7月豪雨災害」で被害の大きかった串掛林道の復旧状況について、昨年度に引き続き視察を行いました。少しずつではありますが、着実に復旧が進んでいることを確認しました。

今後も災害復旧事業等の迅速な実施のため調査・研究を行っていきます。

(2) 視察先への事前質問事項について

①筆の里工房周辺の開発(公園等)が計画されていることに伴い、本町と人口や世帯数の規模が類似し、かつ先進的な公園事業を行っている愛知県阿久比町の取り組みについて、整備等のハード面に関する質問事項を決定しました。



▲土砂災害により被害を受けた串掛林道の道路、ガードレール、水路の復旧状況を確認

②空き家対策、移住・定住対策、災害での一時避難住宅等として期待できる、「空き家バンク」制度を実施している愛知県南知多町の取り組みについて、制度の概要及び実績等に関する質問事項を決定しました。

「防災教育」の取り組みを視察

～児童・生徒の防災意識と防災力を高めるために～

文教委員会

7月24日、25日の2日間、「防災教育」で先進的な取り組みを行っている徳島県阿南市津乃峰町と高知県高知市を訪問し、視察研修を行いました。

阿南市立津乃峰小学校 地域とともに歩む防災教育

防災教育・活動に取り組む学校や団体を表彰する「ぼうさい甲子園」グランプリに選ばれるなど、防災教育を推進されている。

令和元年度の重点事項

- 児童が主体的に行動する防災教育の推進
- 家庭や地域と連携した防災教育の推進
- 地域を誇れる心を育てる

令和元年度～令和5年度は「地域と共に歩む段階」と位置づけ、次の3点を目指した防災教育を展開している。

- ①地域の力を生かし、まちづくりの視点からの防災教育
- ②持続可能な、安定した、日常としての防災教育
- ③阿南市内全域の小中学校との連携、啓発・広報を意識した防災教育



▲自主防災会や地域ボランティアから助言をもらい完成した防災マップ

高知県実践的防災教育推進事業 モデル地域・拠点校の取り組み



高知県では南海トラフ地震に備えるため、児童生徒の防災対応力の向上や学校や教職員の危機管理能力・防災力の向上など、先進的・実践的な防災教育を行う市町村及び学校を支援している。この事業のモデル校の実践発表を傍聴した。四万十市の竹島小学校や黒潮町の大方中学校では、子どもが自分の命を守るための防災教育が行われている。

委員会としては、子どもたちが日常生活における様々な場面で発生する災害の危険性を理解し、安全な行動をすることで命を守ることができるよう、また、他の人々の安全にも気配りができるよう、適切な防災教育の実施を要望していきます。

今月の表紙

「熊野剣道教室スポーツ少年団」練習の様子(熊野第四小学校5年 高木 晃一くん)

熊野第四小学校で月・木曜日は午後7時～9時、土曜日は午後5時～7時の週3回、小・中学生(男女)を中心に活動しています。

剣道は、礼に始まり、礼に終わる、日本が誇る武道です。熊野剣道教室では、「克己(自分に打ち勝つ)」を目標に、日々、稽古に励んでいます。竹刀で頭や手を打たれるので、痛そうなイメージもあるかもしれませんが、面・甲手・胴が守ってくれます。女の子も活躍しています。出稽古や、試合の中で、他の学校の子とも達とも、仲良くなれます。一度、見学に来てください。一緒にやりましょう。

代表指導者 上原 範久
電話 090・2805・3353